

生きよう！笑おう！



出演:樹木 希林

「自分らしく生きていたい！」夢みるシリーズの到達点

在宅緩和ケアを通して、
歩くこと、笑うこと、生きることの喜び、家族の尊さを描く人生讃歌

〈文部科学省選定映画〉

ハッピースターエンド

オオタ ヴィン監督「夢みる小学校」最新作

出演：萬田 緑平（在宅緩和ケア医） 樹木 希林

ナレーション：佐藤 浩市 室井 滋

エンディングテーマ：ウルフルズ「笑えればV」



日時：令和8年2月7日（土） 13:00～15:30

会場：群馬県社会福祉総合センター 大ホール

「楽しい老い」とは？ 「穏やかな終末」とは？ 「理想的な地域医療」を描いた、笑いと涙があふれる あったか～い映画です！

群馬県の在宅医師・萬田緑平先生の診療所は、いつも笑い声が絶えません。

ジョークが好きな萬田先生の信条は、患者さん本人の気持ちを最優先する「患者ファースト」。

家族旅行を楽しんだり、愛するペットとともに暮らす。趣味のガーデニング、ゴルフ、お酒を満喫する。

本作で描かれるのは、最期まで自分らしく生きる、その輝き。前向きに歩きはじめる家族の姿です。

中学生、高校生など若い方にも、ぜひ観てほしい「生きる希望」を描いた文科省選定映画です。

がんを抱えながら亡くなった樹木希林さんの言葉が、明るく生き続ける極意を教えてくれます。

監督は、『夢みる小学校』のオオタヴィン。ナレーションは、佐藤浩市と室井滋。エンディングテーマはウルフルズの名曲です！

“希望あふれる地域医療”を描いたハートフル・ドキュメンタリー映画です♪



樹木 希林

「在宅緩和ケア」で、
自宅で自分らしい生活を送る
がん患者のみなさん

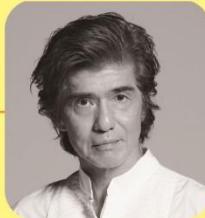
ゴルフやお酒も
OKです！



孫や子どもと
我が家で過ごしたい！



愛するペットと
一緒にいたい！



本作ナレーター
佐藤 浩市

緩和ケアを受けることで、がんの患者さんが
お酒を飲んだり、ゴルフをしながら自分の人生を満喫できる、
素晴らしいなと思いましたね。
がんで悩む現代人には勇気が出る映画です。

本作ナレーター
室井 滋

緩和ケアの実態、私もこの映画で初めて知りました。
がんになっても痛くないなんてすごいですよね。
患者さんたちの元気な笑顔にびっくりしました。
見ると不思議な希望が湧いてくる映画です。



高口 光子（理学療法士、介護福祉士）

予告編
ご覧ください



一般社団法人 群馬県介護福祉士会 四支部合同講演会

「ハッピー☆エンド」上映会＆トークセッション

参加費無料

患者ファーストがモットーの在宅緩和ケア医、萬田緑平先生。「最期まで目一杯生きる」選択をされた患者さんやそのご家族に先生が寄り添った、ハートフル・ドキュメンタリー作品です。

在宅緩和ケアを「自分らしく人生を楽しく全うする」としたこの作品で、少しでも在宅緩和ケアの素晴らしさを感じて頂きたいと思い、上映会を開催しました。

皆様のご参加をお待ちしております！

日時：令和8年2月7日（土）13:00～15:30

会場：群馬県社会福祉総合センター大ホール

12:30 開場

13:00 開会

13:05 映画上映（上映後10分休憩）

14:40 萬田先生と在宅緩和ケアを支える、プロフェッショナルとのトークセッション

15:20 群馬県介護福祉士会からのご案内

15:30 終了

《お申し込み方法》

下記のQRコード もしくは
URLにてお申し込みください



<https://ws.formzu.net/fgen/S981686993/>

定員になり次第、締め切ります！